

【取組内容①】 評価基準の児童との共有、振り返りの蓄積による授業実践

・個別最適な学びを充実させていくために、本時における評価基準を授業の導入で児童と共有する（図1）。学習のめあてだけでは不足している具体的な身に付けさせたい力を「達成度」として提示することで、児童が本時におけるゴールを明確に描くことができる。また、これに対する個人のめあてを立てさせている。

・授業のふりかえりでは、評価基準をもとにGoogle Formsに入力させる。達成度の他に、わかったこと、がんばったこと、友だちのがんばりようかい、もっと知りたいことから1つを選ばせ、自由記述をさせている。（図2）集約結果から、新たな学習問題やめあての設定にも利用できる。（図3）

評価（達成度）	A：7～10	B：4～6
評価（達成度）のきじゆん	とじこめた空気力を加えると体積や手ごたえがどうなるか、「体積」と「手ごたえ」という言葉を使ってまとめることができる。	○とじこめた空気力を加えると体積や手ごたえがどうなるか、実験をして、たしかめることができる。

図1 4年生理科「とじこめた空気と水」評価基準
令和5年7月実施

図2 ふりかえり用フォーム

今日の(自分の)めあて/学習問題は何でしたか？	めあての達成度	自分のがんばり度	今日のふりかえり
くうきを閉じ込めとじこめて、スポンジをいれるとどうなるだろう。	8	9	くうきをとじこめると、スポンジを入れるで、ちぢむのをわかりました。
閉じ込めた空気力を加えると、体積や手ごたえはどうなるだろう。	10	10	実験をして、記録を頑張りました。
先生のお話を聞いて実験を間違えないようにしましょう	9	10	押していくと体積が硬くなっていってものがしぼんでいくということが初めて知りました
先生の話を、しっかり聞く	9	10	もっと、知りたい事は、力いっぱい押したら0まで、なるのかです。
手ごたえなどを感じ取るう	9	9	スポンジをなかにいれてピストンをうごかしたらちぢんだので他にも色々な実験があると思うので、色々実験がしたいです。また、閉じ込めた空気をおすときなかなか力が必要だったことがびっくりしました。また、ちゅうしゃきのようなものに今日は、くうきをとじこめたけど色々なものを閉じ込めてみたいです。例えば、水、などを

図3 集計データ（一部抜粋）

児童のメタ認知能力を向上させ、自らの学びを調整できるようにしていきたいと考え、他教科でも実践をしている。音楽科のリーダーの学習では、同様に評価基準を示すことで、児童の練習意欲が向上するとともに、自分のめあてに向かって、学習を進める様子が見えた。児童のふりかえりに対して、適切なフィードバックを行い、より個別最適な学びが充実したものになるように取組を進めたい。

【取組内容①】評価基準の児童との共有、振り返りの蓄積による授業実践

- ・1年音楽（みんなであわせてたのしもう）
「こいぬのマーチ」をもとにして、自分たちで歌詞とリズム伴奏を考え、オリジナルの「1の2どうぶつマーチ」をつくる。
- ・評価基準を児童と共有することで、活動内容を明確にし、主体的に学習できるようにする。（図1）
- ・児童が自分でめあてを選択することで、目的をもって学習に取り組むことができるようにする。（図2）
- ・リズム伴奏を考える場面では、協働的な学びの実現に向けて、Google Jamboardを使った話し合い活動を行った。話し合いを通して、リズムや楽器の自己決定、自己調整を行った。（図3）
- ・学習のふりかえりは、Google Jamboardで行った。共同編集にすることにより、他の児童とも学んだことを共有できるようにした。

2月8日のもくひょう

じぶんの ぴったリズムと ぴったがっきを
かんがえることができる。ともだちに ぴったりなところや
アドバイスを つたえることができる。

図1

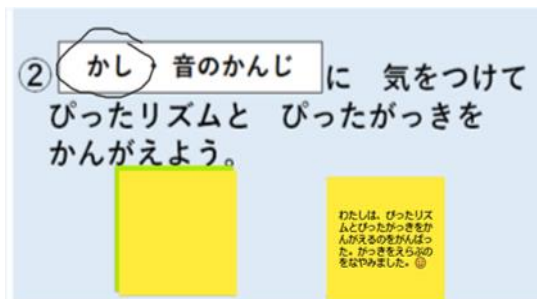


図2



図3

・取り組みのふりかえり今後の課題など

自分一人では、自己決定や自己調整が難しい子どもたちが多いが、話し合いを行うことで、ほかの友達の考えに触れ、よりよいリズム伴奏にしたり、自分の意見を明確にすることができていた。また、Google Jamboardを用いたことで、さまざまなリズムや楽器を簡単に入れ替えることができるため、子どもたちが試行錯誤をしながら学習に取り組むことにつながった。

【取組内容①】評価基準の児童との共有、振り返りの蓄積による授業実践

4年社会科（地域の発展につくした人々）

- ・評価基準をスプレッドシートで児童と共有して学習の見通しをもたせることで、主体的に学習できるようにした。（図1）
- ・振り返りにフィードバックのコメントを返すことにより、児童が次の学習を調整したり、方法を修正したりできるようにした。
- ・他グループのスライドを参照できるようにし、自己のスライドも共同編集にした。（図2）そうすることで、他者の進捗状況、記載内容を参考にしながら授業時間以外でも児童が進めたいときに学びを進められるようになった。（図3）また、児童同士がスライドのコメント機能を用いて、よいと思ったところや疑問に思ったことを伝えることで、考えの修正や調整を行うことができた。

地いきの発てんにつくした人々	単元を通して身に付けたい力	○成童兵衛茂安の治水事業について資料をもとに調べて理解し、先人の願いや思いについて考え、先人の努力によって発展した地域に愛着をもつことができる。	
まとめ	今日すること	A評価 B評価	
1. 成童兵衛茂安の取組について学ぶ	1 成童兵衛茂安の生き方について調べ	成童兵衛茂安の生き方について興味をもって、進んで調べることができる。	成童兵衛茂安の生き方について興味をもって、調べることができる。
	2 学習問題をつくり、学習計画を立てる	成童兵衛茂安の働きについて疑問に感じたことをもとに、学習問題をつくり、予想し、学習計画を立てることができる。	成童兵衛茂安の働きについて疑問に感じたことをもとに、学習問題をつくり、学習計画を立てることができる。
	3 干葉土層について学び、表にまとめる	干葉土層について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べるができる。	干葉土層について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べるができる。
	4		
	5 成童兵衛茂安が取り組んだ、他の事業について調べて表にまとめる	茂安の他の事業について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べることができる。	茂安の他の事業について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べることができる。
	6		
	7 機械を使わない工事を体験する	機械を使わない工事を体験し、昔の工事の様子や当時の人々の苦労を想像し、表現できる。	機械を使わない工事を体験し、昔の工事の様子を想像できる。
2. 茂安になりきり、児童公園の池復元計画を立てよう	8 課題をつかむ	児童公園の池の問題点をいくつも見つけることができる。	児童公園の池の問題点を見つけることができる。
	9 計画を考え、茂安のすいこを見つかる	課題解決の作戦を、学習したことをもとにたくわしく考えて表現できる。	課題解決の作戦を、学習したことをもとに考えて表現できる。
	10 計画を見直し、茂安のすいこを見つかる	計画を見直し、よりよい計画を考えようとするので、先人の努力をいくつも見つけることができる。	計画を見直し、よりよい計画を考えようとするので、先人の努力を見つめることができる。

児童公園の坂のような場所大きな筒のようなものを作ってパイプなをつなぎ水を出したり止めたりしたらいいと思う。



わたしたちは、川原天満宮の近くの川から、ホースをつなげて水をもってくるという方法を考えています。これを使えば、楽に水を持ってこれると思います。ただ、サイホンの原理を使おうとしているけど、道の高さが合わないから使えないかもしれません。あと、ホースが道路をふさいでしまうという問題点があります。

図1 「地いきの発てんにつくした人々」評価基準

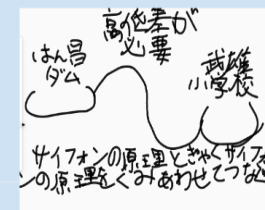
図2 共同編集でのスライドづくり1

図3 共同編集でのスライドづくり2

武雄小学校と繁昌ダムをパイプでつなぐ方法

- ・繋ぐときにサイフォンの原理と逆サイフォンの原理を組み合わせ、うまく繋げて武雄小学校と繁昌ダムの間に繋ぐ。

予想図



・評価基準を共有することと振り返りにコメントをすることにより、児童の意欲が向上し、学習のリズムがよくなったと感じる。他教科でも同様の取り組みを行ったが、家庭学習としての事前の取り組みや自己分析をして次の学習を調整する児童の増加が見られた。一方で、情報量が増えることで、文章を読むことが苦手な児童にとっての負担が懸念される。見やすい資料作成や提示方法の工夫をしていきたい。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武雄小学校（佐賀県）

【取組内容①】 友達を参考にして考えや学習方法を修正・調整し、子どもたち自身で進めていく授業実践

- ・6年社会（新しい日本へのあゆみ）
- ・学習計画や評価基準を児童と共有することで、学習の見通しをもち、意欲的に学習に向かうようにした。（図1）
- ・「政治」「国際社会への復帰」「経済の発展」「人々の暮らし」「外国とのつながり」「国際社会の課題」の6つの中から、自分の調べたいテーマを決定するようにした。児童は、1つまたは複数のテーマを自己決定し、調べてまとめる活動を行った。
- ・あらかじめ、家庭での予習によって、自己の考えを準備しておくようにした。
- ・ワークシートや振り返りシートを友達と共有できるようにし、考えを広げたり深めたりできるようにした。また、教師も児童のシートを見て進度を把握し、即座に支援にあたった。（図2・図3）
- ・シートのまとめ方を児童に委ね、集めた資料を取捨選択しながら、考えを作り出していくようにした。（図3）
- ・協働的な学びと学習の定着をねらい、終盤にまとめたシートを用いて交流する場を設定した。

学習日	学習内容	教科書	時	本時で身につけること
1月15日	1. 1945年以前の世界のあゆみ 2. 1945年以後の世界のあゆみ	1.94 1.97	1	1. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月16日	3. 戦後の日本と世界のあゆみ	1.98 1.99	2	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月17日	4. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.00 2.01	3	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月18日	5. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.02 2.03	4	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月19日	6. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.04 2.05	5	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月20日	7. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.06 2.07	6	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月21日	8. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.08 2.09	7	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。

図1 児童と共有している学習計画

学習日	学習内容	教科書	時	本時で身につけること	ワークシート	めあて・振り返り	達成度(A/Bに記入)
1月15日	1. 1945年以前の世界のあゆみ 2. 1945年以後の世界のあゆみ	1.94 1.97	1	1. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 世界の歴史を知り、世界の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月16日	3. 戦後の日本と世界のあゆみ	1.98 1.99	2	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月17日	4. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.00 2.01	3	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月18日	5. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.02 2.03	4	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月19日	6. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.04 2.05	5	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月20日	7. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.06 2.07	6	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。
1月21日	8. 戦後の日本と世界のあゆみ	2.08 2.09	7	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。	1. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。 2. 戦後の日本と世界のあゆみを理解し、戦後の世界を多面的に理解し、異文化を尊重する態度を身に付ける。

図2 授業の振り返りシート

これまで学習してきたことのつながりを考えて、日本の戦敗後の流れをとなえ、学習問題についてまとめよう。

昭和の

名前:

予習: 原爆による被害について

原爆による被害

日(8月9日)	当郷の人口	約9万人
118661人	死者	73884人
791130人	負傷者	74901人
56000戸	全壊焼けた家	11674戸
6820戸	全部こわれた家	1326戸

原爆による被害

日本はなぜ負けたのか

- 原爆投下による大きな被害。
- ソ連が日本に参戦。
- アメリカ軍の反攻。
- 7年以上戦争を続けることができない。

昭和の原爆投下によって

大きな被害が出た。これ以上戦争を続けることが困難となった日本はボツダム宣言を受け入れ、戦った。

日本はなぜ負けたのか

- 原爆投下による大きな被害。
- ソ連が日本に参戦。
- アメリカ軍の反攻。
- 7年以上戦争を続けることができない。

昭和の原爆投下によって

大きな被害が出た。これ以上戦争を続けることが困難となった日本はボツダム宣言を受け入れ、戦った。

日本はなぜ負けたのか

- 原爆投下による大きな被害。
- ソ連が日本に参戦。
- アメリカ軍の反攻。
- 7年以上戦争を続けることができない。

図3 児童の学習シート

- ・授業1時間だけを考えるのではなく、ゴールから逆算して学習計画を立てた。
- ・学習のめあてやテーマを自己決定する場を設定し評価基準を提示したことで、意欲的に学ぶ児童が格段に増えた。
- ・学習方法や進度を自分で調整し、他者を参照できる環境を設定したことで、自分たちに合った形で学習に向かうことができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武雄小学校（佐賀県）

【取組内容②】 動画教材から必要な情報を取り出し、課題解決をはかる授業実践

自閉情緒学級 1年自立活動（こまったときのアイテムをゲットしよう）

- ・単元の導入時に、単元全体の学習計画やゴールを示したワークシートを使用した。各時間の学習のめあてと活動を自己選択できるようにした。（図1）ふりかえりシートの記入により、学習の見通しを持たせ、学習の足跡を残すことができた。
- ・獲得させたいソーシャルスキルのモデリングのために、ペープサートを利用した動画を作成した。これを児童が視聴し、自分がやってみたいと思う動画を自己選択した。（図2）
- ・その後、ロールプレイによりソーシャルスキルの定着を図った。ロールプレイの様子を動画で撮影・視聴して、客観的に振り返ることができた。
- ・児童が通っていた保育園とリモートでつないだ。児童が年長の時に担任だった保育士から、活動への評価をもらったことで、児童の達成感や次時への意欲を高めることにつながった。（図3）幼保小連携の新しい形として、保育園側からリモートでの授業参観について評価していただいた。単元の終末には、ソーシャルすごろくに取り組み、スキルの定着について確認した。

のびのびタイムふりかえり(名前)		できた	まあまあ	もう少し
学習すること	めあて (じぶんでえらんで○をつけよう)	ぜん ぜん と	ひとり で う ま く	みん な で
11/29	「こまったときのアイテムをゲットしよう」をしる。	○	○	○
11/30	「ソーシャルすごろくのルールをしる。」	○	○	○
11/31	「こまったときにどうしたらいいかやってみる①」	○	○	○
12/1	「こまったときにどうしたらいいかやってみる②」	○	○	○
12/2	「ソーシャルすごろくをする。ふりかえりする。」	○	○	○

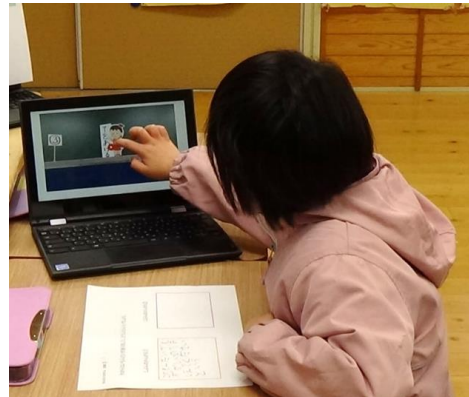


図1 ふりかえりシート

図2 モデリング動画

図3 保育園からの評価（リモート）

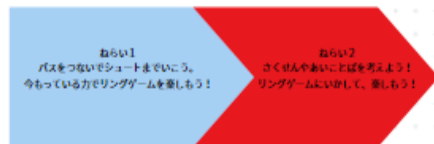
- ・他教科でも児童に選択させたり自己の考えを修正させたりする場面を増やしていきたい。また、そのような場面での、適切な教師のかかわり方も模索していきたい。
- ・低学年の児童でも学習ログを共有、活用できるような授業展開にしたい。そして、児童自らめあてや学習内容の選択ができるようにしていきたい。

【取組内容③】 学習の振り返りを家庭で行う、家庭学習と授業をつなぐ実践

3年体育（リングゲーム）

- ・作戦タイムでは、デザインソフトを活用し、作戦を立てさせた（作戦ボード）。作戦ボードには、児童の実態に合わせたルーブリックもつけており、単元の流れを意識し、見通しをもたせながら活動することができるようにした。（図1）
- ・活動の様子を定点カメラで記録し、classroomに投稿する。児童が動画を見て、自分や友達の動きを確認し、めあてや振り返りを行いやすいようにする。家庭でも各自確認、記入している。授業時間外に、チームの合言葉やうまくいった動きなどを記述している児童が多いた。（図2）
- ・個人やチームの振り返りは、デジタルホワイトボードソフトを用いた。文字入力はタイピング、手書き入力どちらでも対応しやすかった。

単元のすすめかた



リングゲームを通して、できるようになる

- ・バスやシュート、ボールをもっていないときの動きでリングゲームを楽しもう。
 - ・自分のチームやあいてチームのとくちょうをしよう。
- [自分のめあて、チームのことをふりかえろう]
- ・さくせんを話し合い、くふうしよう。〔じっさいに使えるさくせんかどうか〕
 - ・かったときのよろこび、負けたときのくやしさをあじわい一生けんめいに運動しよう。〔ともだちへの声掛け〕
 - ・友だちの話をよくきき、考えをみとめよう。

図1 単元計画と目指す児童の姿

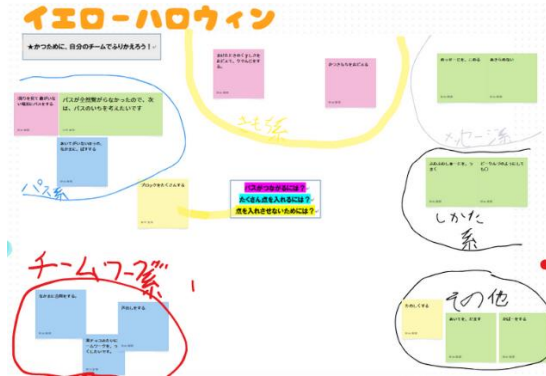


図2 個人の振り返り(抜粋)

11月17日 さくせん：今日は、ジグザグバスを意識して、相手に邪魔をされないように、高く投げる。
訳・・・ジグザグバスになれるため！



11月17日 さくせんは、どうだった？
ジグザグバスは、できなかったけど、あおいくんのドリブルが、2回ドリブルしたあと、すぐにバスして、また、あおいくんにバスをしたのが、良かったから。またやって勝ちたいです。

11月20日 さくせん：チョビジグバスを引き続き、頑張ろう！（三角バスもしたいです。）
訳・・・色々な事に、挑戦して勝ちたいからです。

11月20日 さくせんは、どうだった？ チョビジグバスは5回できたので、次は三角バスをしたいです。

図3 チームでの振り返り(抜粋)

・定点カメラで撮影した動画をクラウドにアップすることで、児童が授業外に動画を確認し、作戦を考えたりめあてを確認したりしていた。また、端末を持ち帰り、時間を決めてクラウド上で作戦や動きの確認をしているチームがあった。ここで確認したことを授業時間に生かすという学習サイクルができつつある。

・児童に単元を通して目指してほしい姿を提示することで、見通しをもって学習を進めることができた。また、めあてや振り返りを具体的に考えさせることができ、授業時間以外にも練習したり、めあてを修正したりするなど、主体的な姿が見られた。

【取組内容④】チャット機能や掲示板機能を活用した、連絡や相談体制の構築

<Google chatの活用>

- ・職員間での連絡、指導案の提案、ワークシートの参照などをGoogle chatにより実施。（図1）
- ・従来のメールより、職員間の連絡、データの共有がしやすくなった。また、指導案、デジタルワークシートをGoogleの各アプリで作成することを職員間で統一することで、共同編集や編集した内容の確認が容易になった。また、出張報告をchat上で共有し、資料や撮影した画像をスムーズに共有することができた。（図2）

<デジタルホワイトボードソフトの活用>

- ・職員間で協議する際や授業研究会では、ホワイトボードアプリを共有し、議事録として活用した。（図3）



図1 チャットの活用



図2 出張報告の共有

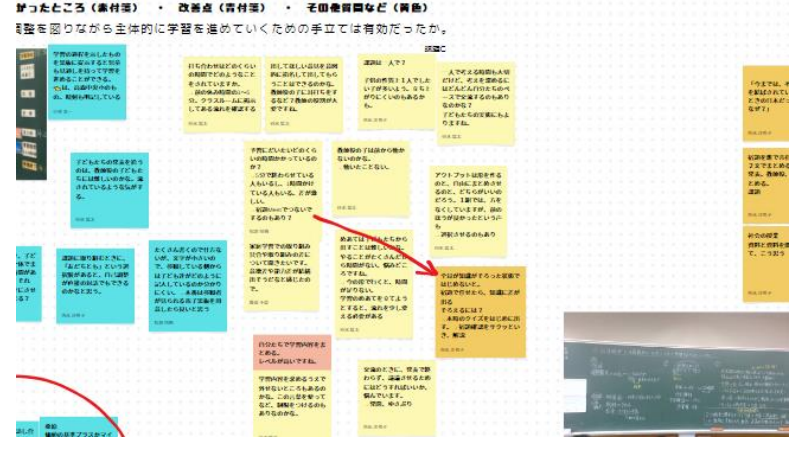


図3 デジタルホワイトボードソフトの活用

- ・クラウド活用により、職員間での連絡や情報交換がスムーズに行えた。
- ・授業研究会等でクラウドを活用した。誰でも自分の考えを表明する機会を確保することができ、話し合いが活発になった。
- ・いろいろな方法でクラウドにアクセスすることができ、時間と場所を選ばずに情報発信や情報交換ができた。